

# たまか

1997

8

No.372

空と緑`新、呼吸する——**広報TAMAKAWA**



## '97 ひと夏の 思い出

8月3日に須釜小学校々庭で行われた第26回少年球  
技大会の開会式。選手を代表して、川辺小学校6年の  
鈴木啓章君が元気よく選手宣誓をしました。  
(6面に関連記事)

第43回福島県消防操法競技会石川支部大会

# 小高分団（ポンプ車の部）が優勝



競技中の小高分団の選手

第43回福島県消防操法競技会石川支部大会は7月27日(日)に石川町民グラウンドで開催されました。石川郡内5町村からポンプ車の部と小型ポンプの部にそれぞれ1チームずつエントリーして競技が行われました。玉川村からは、ポンプ車の部に小高分団、小型ポンプの部に中分団が出場して練習の成果を遺憾なく発揮しました。

## 玉川村が連続優勝

ポンプ車の部

今年から競技内容が一部変更となり、ポンプ車の部と小型ポンプの部の競技が同時に並んで行われました。

抽選の結果、小高分団は、5チーム中3番目の出場となりました。指揮者の小針達夫さんの号令のもと1番員から4番員までの隊員の俊敏な動きで操法が始まりました。梅雨明け後の炎天下での競技にもかかわらず、選手たちは緊張感からか暑さを感じることもなく無難な動きで競技



小高分団長 溝井康夫さん

皆様のご協力に感謝いたします  
「この度、消防操法競技会石川支部大会のポンプ車の部で優勝することができました。選手

ました。競技の結果、小高分団は優勝となり、昨年の南須釜分団に続いて玉川村の2連覇となりました。また、小高分団は、8月に行われる県中大会の出場権を得ました。

の皆さん本当にご苦労様でした。また、操法に際しまして地域や選手の会社の皆様にはご協力、本当にありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。次は県中大会に臨みますが、石川支部の第1代表として恥ずかしくない競技をしてきたいと思っておりますのでご声援よろしくお願いいたします。」



優勝旗を手にする溝井分団長(左端)と選手の皆様



真剣な眼差しで操法を行う中分団の選手

## 中分団も善戦

### 惜しくも入賞を逃す

小型ポンプ車の部にエントリーした中分団は、最後の5番目に出場しました。

テント前で団員、分団長O B、区役員、家族などの応援団に健闘を誓っていざ出陣。選手たちは緊張感をほぐしながらも練習で学んだ操法技術を頭の中で整理しながら精神を集中して競技に入りました。

指揮者の小針一志さんの力強い号令に一糸乱れぬ操法を展開しました。応援団も競技場所の近くに移動して、真剣な眼差しで選手の動きを追っ

ていました。競技に集中して練習の成果を出し切った選手たちからは満足感がありました。残念ながら入賞は逃したものの、選手たちに応援団から温かい拍手が送られました。

### ご声援ありがとうございました

ごぞいりました

古寺貴栄中分団長の話「選手たちは本当にがんばってくれました。たいへんお疲れ様でした。また、競技会の出場にあたりま

## 大会時間が大幅に短縮

して、分団を支えていただきました地元区民の皆様と関係者各位には、大変お世話様になり厚く御礼を申し上げます。」

今年から競技の内容が変更になり、ポンプ車の部と小型ポンプの部との競技が同時に進行されたことにより競技時間は大幅に短縮され、午前中で大会は終了となりました。大会運営のスピードアップ

につながりましたが、ひとつのチームの競技を集中して見れないのが残念との声もありました。

閉会式では、永瀬支部長から代表チームの選手に「お盆

- 休み返上してがんばってください」と激励されました。
- なお、競技会の結果は、次のとおりでした。
- (ポンプ車の部)
- 優勝 小高分団(玉川村)
- 準優勝 母畑分団(石川町)
- (小型ポンプの部)
- 優勝 第4分団(平田村)
- 準優勝 第6分団(古殿町)

## 小高分団 県中大会へ向け始動

自動車ポンプの部で優勝した小高分団は、8月22日(金)に郡山市の大槻町スポーツ公園で行われる第13回福島県消防ポンプ操法競技会中地方大会に出場するために練習を8



ナイター練習に励む小高分団の選手

月6日から始めました。大会前日まで、村民グラウンドにてナイター練習を9回、会場となる大槻町スポーツ公園で1回の練習日程が組まれました。また、19日には、仮審査会と選手団激励会が村民グラウンドで行われます。小高分団の活躍が期待されます。



①堂々の入場行進  
②中分団選手の競技の様子  
③応援団からの大きな声援が飛び





# 愛媛県の 玉川町民視察団が来村

村の体育状況を見聞・体験

本村と同名が縁で交流している愛媛県玉川町から7月20日に町民視察団〔ソフトボールチーム「玉川ライオンズ(森 和俊監督)」〕12名が、本村の体育状況を視察研修することを目的に本村を訪れました。

前日の夜に玉川町を出発して、列車と船(宿泊)、バス、飛行機を乗り継いで午前10時05分に福島空港に到着。旅の疲れが取れぬまま村内での視察研修を精力的に行いました。



村生産物直売所(ごぶしの里センター)を視察

**【見る】**  
**村内を視察**  
視察団一行は、到着後、休憩を取ることも無く村内の施設などを視察しました。  
村生産物直売所では、村内特産の農産物や工芸品を熱心に見学しました。  
村の観光名所で日本の滝百選にもなっている「乙字ヶ滝」では、夏の強い日差しの中、豪快な白い水しぶきに涼感たっぷりの様子でした。  
また、村民グラウンドで行われていた第21回玉川村体育協会長杯野球大会の決勝戦を観戦しました。

**【動く】**  
**北須釜ソフト愛好会と交流試合**  
午後1時から須釜小学校校庭で視察団一行「玉川ライオンズ」と本村の「北須釜ソフト愛好会」(榊枝正昭監督)との交流試合が行われました。  
開会式で車田次夫村長と大竹寿雄村ソフトボール協会会長から歓迎のあいさつの後、玉川ライオンズの森和俊監督から感謝のあいさつがありました。  
玉川ライオンズは、昭和62年に結成され、平成4年に愛媛



開会式で整列する選手(手前が玉川ライオンズの皆さん)



交流試合のようす

県のA級リーグに登録されている20歳代主体のバリバリのチーム。平成7年には、県A級リーグ第2位、四国大会に出場してベスト4に残った戦歴があります。  
北須釜ソフト愛好会は、先の石川郡体育協会長杯の村予選大会で優勝して今回の対戦相手に指名されました。  
試合は、玉川ライオンズの先打で始まり、初回から豪打爆発。守っても小川里士投手が常時130kmの速さで投げる球に四苦八苦。調子が良ければもっと速い球が投げられるとの話にまたビックリ。一塁ランナーを青野淳也捕手が牽制で刺した強肩など随所にファインプレーが続出しました。

**【話す】**  
**選手同士で情報交換**  
試合は、12対0で玉川ライオンズの勝利となりました。試合終了後にパーベキューでの懇親会が行われました。  
両町村の様子について情報の交換がされ楽しいひとときを過ごしました。また、北須釜ソフト愛好会の関根良吉さんは「世間は広いようで狭いもんですね。私が消防学校で一緒だった人の同僚の方(玉川町の森 祐介さん)と会えました」とあまりの偶然にビックリしていました。  
玉川ライオンズの皆さんは当夜は郡山市内のホテルに宿泊して、翌朝、郡山駅から新幹線で帰途につきました。



パーベキューでの懇親会

# 北の大地、に学ぶ 感動の旅

中学生国内研修事業

初の道東研修



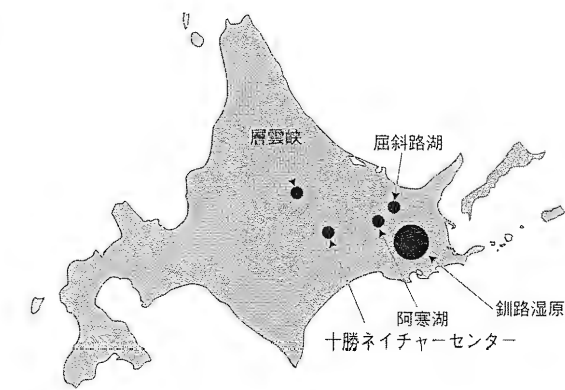
カヌーで北海道の大自然を満喫(十勝ネイチャーセンターにて)



結団式で決意表明文を読み上げる小原君

初日の28日午前9時50分から福島空港の到着ロビーで結団式が行われました。  
野口企画財政課長の開会のことばに続いて、団長の小林教育長から「北海道の大自然に親しみ、有意義な体験をして今後の生活に役立てて下さい」とあいさつがありました。  
生徒を代表して須釜中の小原直也君が決意表明文を読み上げ団員が気持ちをひとつにして式は終了となりました。

平成9年度ふるさと創生事業の中学生国内研修は、7月28日から30日までの3日の日程で行われました。今年は何年かのコースを変えて、福島空港から帯広空港に飛んで、北海道の東部地区(道東地区)を中心に研修しました。道東地区は、広々とした大地「北海道」のイメージにぴったりの地域といわれています。小林豊司教育長を団長に村内の中学2年生119名(泉中70名、須釜中49名)と引率者14名が参加して、北の大地「北海道」の自然にふれあい、貴重な体験をしてきました。



HOKKAIDO

主な研修地

## 道東の大自然を体験

中学生国内研修団員133名を乗せたJAL805便は定刻どおり午前11時15分に福島空港を無事離陸しました。  
今年の研修コースは、道東地区が中心となっており、帯広空港を拠点に「十勝ネイチャーセンター」「層雲峡」「屈斜路湖」「阿寒湖」「釧路湿原」など北海道の大自然が堪能できるコースとなりました。  
9月号では、生徒の感想文から研修の様子を紹介いたしますのでご期待ください。  
(9月号に続く)



# 第26回村少年球技大会

## ソフト 小高と ミニバスケット 北須釜に栄冠

村青少年育成村民会議(車田次夫会長)主催による第26回玉川村少年球技大会は8月3日(日)に須釜小学校校庭をメイン会場に開かれました。例年どおりソフトボールとミニバスケットボールが行われ、各行政区の子供育成会でチームを編成してソフトボールに11チーム、ミニバスケットに10チームが出場しました。

大会を前に須釜小学校校庭で蒜生チームを先頭に堂々たる入場行進を披露。開会式では、車田会長からのあいさつと宗形副議長から祝辞がありました。選手全員でラジオ体操のあと競技が行われ、熱戦の結果、ソフトボールで小高チームが、ミニバスケットボールで北須釜チームがそれぞれ優勝しました。



蒜生チームを先頭に堂々の入場行進

### 暑さの中で熱き戦い 練習の成果を発揮

同大会は、夏休み中の児童の事故防止と健全なる育成を目的に昭和47年から毎年開かれていた伝統のある大会です。

朝から暑い日差しが照りつける中、選手たちの元気がつらつとしたプレーと保護者の大きな声援に会場は興奮のつぼと化していました。

選手たちは、この大会のために毎日、練習を積み重ねてきており、その成果を遺憾なく発揮して、ひと回り大きく成長した自分と夏休みの大きな思い出をつくって大会の幕は下ろされました。

大会の結果は、次のとおりです。

ソフトボール	
優勝	小高チーム
準優勝	南須釜チーム
3位	岩法寺チーム
3位	山小屋チーム

ミニバスケットボール	
優勝	北須釜チーム
準優勝	南須釜チーム
3位	中チーム
3位	竜崎チーム



ソフトボールで優勝した小高チーム

ミニバスケットボールで優勝した北須釜チーム

### 石川地区小体連 須釜小が ミニバス優勝

第16回石川地区小体連球技大会は、7月23日(水)に本村の玉川第一小学校、須釜小学校など4つの会場で行われました。石川郡内24校から八百人の児童が男子サッカーとミニバスケットボールに熱戦を繰り広げました。

須釜小学校会場のミニバスケットボールで、須釜小チームが見事優勝を飾りました。なお、本村学校関係の成績は、次のとおりです。

サッカー	
▽玉一小会場	3位 玉一小B
▽須釜小会場	3位 玉一小A
ミニバスケット	
▽須釜小会場	優勝 須釜小
▽玉一小会場	2位 玉一小



試合中の須釜小チーム

## 第31回 村民登山会

# 安達太良山頂に立つ

標高1,700mからの眺望を楽しむ



### 好天に恵まれ 絶好の登山日和

村公民館主催の第31回村民登山会は、「恵子抄」でも全国的に有名な福島県の名峰「安達太良山」へのアタックとなりました。

登山会は、7月13日(日)に一般参加者と村体育指導員などの役員の総勢100名により行われました。午前6時に2台の大型バスに分乗して村を出発しました。

二本松市の奥岳から高速ゴンドラに乗って約6分で8合目の薬師岳へ。ここから歩き初めて、約2時間弱で標高千七百メートルの安達太良山頂に到達しました。

当日は、好天に恵まれて山登りに最高のコンディションでした。山頂からの眺めは素晴らしい、上空に高く広がる「ほんとうの空」をはじめ、二本松市街地から郡山市街地、阿武隈の山々、噴火口などの美しい景色に参加した村民は満足していました。

昼食後、沼尻温泉側に下山して温泉に入っ



山頂付近で記念撮影

て疲れを癒してから帰途につきました。

### 県民スポーツ石川地区大会

## バレーボールで小高がV

バドミントンは、玉川村チームが準優勝

県民スポーツ石川地区大会は、古殿町を会場に7月20日(日)に行われました。

本村からは、壮年ソフトボール、家庭バレーボールに村予選を勝ち抜いた4チームが出場。バドミントン、卓球にそれぞれ1チームずつ出場しました。

熱戦の結果、家庭バレーボールに出場した小高家庭バレー愛好会は、予選リーグは苦戦したもの、決勝トーナメントでは、本来の力を発揮して優勝しました。

また、バドミントンでは、玉川バドミントンクラブが準優勝、卓球で玉川卓球クラブが3位入賞を果たしました。

優勝した小高家庭バレー愛好会と準優勝した玉川バドミントンクラブは、8月31日に郡山市で行われる県民スポーツ県中地域大会に出場することになりました。



視察する代表者の皆さん

## 今年もきれいに咲きました

花いっぱい運動代表者が視察

玉川村花いっぱい運動協議会(車田次夫会長)では、各構成団体の代表者らで7月30日の午後に村内各所の花の開花状況の視察を行いました。

各団体とも除草、追肥などの手入れが行き届いており、マリーゴールドやサルビア、アゲラダムなどの花が色鮮やかに咲き誇っていました。

視察に参加したある代表者は「きれいに咲きました。美しい村「たまかわ」をアピールできます」と話していました。



優勝した玉川バドミントンクラブのメンバーと優勝した小高家庭バレー愛好会の皆さん



# トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—  
役場総務課広報広聴係まで



## 第12回石川郡ゲートボール大会 村民グラウンドで開催 滝、蒜生が3位入賞

石川郡ゲートボール協会連合会主催の第12回石川郡ゲートボール大会は、本村の村民グラウンドを会場に開かれました。灼熱の太陽のもとに石川郡内から24チームが参加しました。8つのブロックに分かれて予選リーグが行われ、各ブロックを勝ち上がった8チームによる決勝トーナメントが行われました。大会の結果、石川町の高田チームが優勝し、本村の滝チーム(竜崎)と蒜生チームが3位入賞を果たしました。



## 乙字ヶ滝公園内の東屋 白アリ被害の柱を修繕 小林徳清さん(竜崎)がボランティアで

村の観光名所「乙字ヶ滝」の公園内にある東屋の柱の根元が白アリに喰われて危険な状態でした。事態を知った竜崎の小林徳清さんは、ボランティアで柱の根元を切り取って、コンクリートで基礎を造り、そこに柱を載せて金具で止める修理をしました。また、園内のトイレのドアも併せて修理をされ、きれいな公園づくりに協力されました。

## 台湾鹿谷郷から繪軸が寄贈

### 黄捷守さんの作品

役場ロビーに展示中

7/1

本村と国際友好都市を提携している中華民国鹿谷郷の鄭孔修さんから車田村長に繪軸(掛軸)4点が贈られてきました。  
この繪軸は、故金耀章さん(前鹿谷國民小学校長)の奥様の黄捷守さんの作品で、鄭さんが、鹿谷郷と玉川村の文化交流の絆とするために黄さんに頼んで描いてもらったものです。花や小鳥を描いた作品は美しく、役場を訪れた人々の目を楽ませています。



役場ロビーに展示中の繪軸

## 大寺城跡で奉仕作業

南須釜地区推進協議会が行う

7/20

青少年育成村民会議南須釜地区推進協議会(相楽義二会長)では、子供と役員など90名が参加して地区内にある大寺城跡と都々古別神社の草刈りなどの清掃作業を行いました。  
この事業は、小学校4年生から高校3年生までを対象に「地域ぐるみで美化清掃活動の推進」と青少年の健全育成と社会参加を進めることを目的に毎年行われています。午前8時から約2時間の清掃作業のあと、大寺城跡でトン汁を作ったの食事会が行われました。食事のあと、地区の歴史を学ぶために村郷土史研究会会員の渡辺富幸さんを講師に「都々古別神社及び大寺城跡の『郷土史』について」と題して講演が行われました。



渡辺さんの講演を熱心に聴く参加者



研修会であいさつする野原委員長さん

## 埼玉県玉川村赤十字奉仕団来村

事業内容を研修

8/4

埼玉県玉川村の赤十字奉仕団(野原とみ委員長)の団員22名と事務局職員2名が来村し、本村の赤十字奉仕団の団員と合同研修会を行いました。  
研修会は、午後1時30分から村ふれあいセンターで開かれました。本村の赤十字奉仕団の大和田委員長と日赤の本村分区長である車田村長から歓迎のあいさつと、埼玉県玉川村赤十字奉仕団の野原委員長からあいさつがありました。  
研修会は、「赤十字奉仕団の活動について」と題して、通常の活動状況について意見の交換が行われました。なお、団員は翌日、村内の施設などを視察しました。

## 玉川ライオンズクラブ 空き缶リサイクル事業 益金を村内各小学校へ贈る

7/15

玉川村ライオンズクラブ(佐藤豊勝会長)では、空き缶を回収して得た益金を村内の各小学校に贈りました。贈呈式は、第123回の例会の席上行われました。  
ライオンズクラブでは、「空き缶を集めて村をきれいにして」を合い言葉に昨年の秋から空き缶のリサイクル事業を始めました。この事業は、村内の各小学校の児童が回収してきた空き缶をライオンズクラブが、アルミヤブリキなどに分別して業者へ渡して現金化しています。昨年の10月から今年の6月までに約6万缶を回収して、合計81,977円の益金がありました。ライオンズクラブでは、100万缶を目標に今後とも継続してゆくことにしています。



佐藤会長(右)から益金を受け取る玉一小の水野教頭先生



## '97 福島空港・空の日 記念行事 空港で遊ぼう!! 各種イベント盛りだくさん

- ◆開催月日 平成9年9月21日(日)
  - ◆開催場所 福島空港/ターミナル及び空港整備用地
  - ◆内容
    - ◎NAL遊覧飛行(抽選有り)
    - ◎ウルトラマラソンショー
    - ◎エアロビクスショー
    - ◎地元バンドの演奏など
    - ◎拡張工事現場の見学会
    - ◎空港各施設の見学
    - ◎地元特産品の展示・即売会
- その他にも楽しみいっぱい



遊覧飛行体験で空から玉川を見てみよう!!

## 中華民國鹿谷郷友好都市提携10周年記念 福島空港開港5周年記念

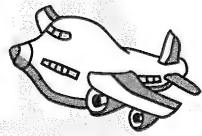


福島空港からチャーター便で行く「台湾の旅」

## 『玉川村民の翼』参加者募集

玉川村海外派遣団連絡協議会では、来年の秋に福島空港からチャーター便で行く台湾を企画しています。次の要領により参加者を募集します。

- ◆期 日 平成10年11月20日(金)~24日(火) 4泊5日
- ◆行 先 中華民國
- ◆費 用 18万円程度
- ◆募集人員 220名
- ◆申込み先 玉川村海外派遣団連絡協議会 (事務局~村企画財政課☎57-4629)







～玉川町村スポーツ交流より～

## 平成10年度学生募集

募集科目及び募集定員  
 1 機械制御システム科 20名  
 2 電気制御システム科 20名  
 3 情報制御システム科 20名  
 4 自動車整備科 20名  
 5 建築デザイン科 20名

2 試験方法  
 (1) 推薦入学試験  
 (2) 募集定員 各科目定員の30%程度  
 (3) 応募資格 平成10年3月高等学校卒業予定者で、3学期までの全体評定平均値が3.5以上の者  
 (4) 願書受付 平成9年11月4日(火)～平成9年11月19日(水)  
 (5) 試験科目 数学I(必須)、国語I又は英語I(いずれが選択)、面接試験  
 3 詳細問い合わせ先  
 〒963 福島県郡山市上野山5番地 福島県立郡山高等学校 術専門校 電話0249-441663(代表)

### 平成9年度実施 浜名湖競艇企業団(専用場外場勤務)職員募集案内

浜名湖競艇企業団では、専用場外場(ポートピア玉川(仮称))に勤務する職員を募集いたします。

1 職務内容、採用予定人員及び採用日  
 ●職務内容 競艇事業に係る事務  
 ●採用予定人員 3名  
 ●採用日 平成10年4月1日(水)

2 受験資格  
 昭和46年4月2日以後に誕生した者で、高等学校卒業以上の学歴を有する者または平成10年3月に卒業が見込まれる者。

3 申込受付期間  
 平成9年9月1日(月)から平成9年9月12日(金) 午後5時まで

4 試験日及び場所  
 ●第一次試験(筆記試験) 平成9年10月5日(日) 玉川村役場(予定)  
 ●第二次試験(面接試験) 平成9年10月19日(日) 玉川村役場(予定)

5 申込必要書類  
 ●履歴書一通(写真貼付 縦35mm×横30mmの上半身)  
 ●写真2枚(履歴書貼付写真を含む)、住民票一通

6 申し込み及び問い合わせ先  
 〒431-77 静岡県浜名郡新居町中之郷3727番地の7 浜名湖競艇企業団 総務課 ☎053-594-7112

## 子供だけの花火はやめましょう

### みんなで防ごう住宅火災

夏の日に素敵な思い出を残してくれる花火。でも火花が飛んで枯れ草が燃えたり、残っていた火種で火災になることもあるんです。

花火遊びは子供たちだけでは絶対にしないこと。必ず大人がそばにいて、水を入れたバケツで必ず消すことも忘れずをお願いします。



### 赤坂団地分譲のお知らせ

本村川辺地区の赤坂団地の分譲住宅(宅地)の購入者を先着順受付で募集しています。

販売区画数は、14区画となっております。

お問い合わせ及び申込受付場所  
 玉川村役場 企画財政課 ☎0247-574629

## 高校奨学生を予約募集中

### 募集要項

- 奨学金賞与額 月額2.5万円(国公立)、または3万円(私立)
- 応募資格 ①保護者が病気や災害・不慮の事故で死亡したり、著しい後遺症 ②学費に困っている ③現在中学3年生(成績不問)で、来春高校・高専進学をめざすもの。
- 募集人員 1,000人
- 採用方法 書類審査のみ
- 出願期限 平成9年10月31日
- 申し込み方法 出願書類は学校にあります。または、あしなが育英会までご連絡ください。お送りします。
- 返還 卒業後20年間で割賦返済。無利子です。
- お問い合わせ あしなが育英会 〒102 東京都千代田区平河町貝坂ビル 電話03-3221-7676
- ▶あしなが奨学金はまごころもった奨学金です。あしなが育英会の奨学金は「あしなが学生募金」「あしながPウォーク10」などの温かいご寄付で運営されています。

## 伝言板

～図書室新書案内～

- ふたりっこ 大石 静
- 弟 石原慎太郎
- ぼくはこんな本を読んできた 立花 隆
- 遺産(上・下) S・シェルダ
- 勝者の資格 野村克也
- うずまき猫の見つけかた 村上春樹
- 野茂英雄 講談社
- ハチ公最後の恋人 吉本ばなな
- 知りたいことがすぐ分かる 家庭医学事典 新星出版社
- かくも短き眠り 船戸与一
- これが沖縄の米軍だ 高文研
- 冬の眠り 北方謙三
- 資格の取り方、生かし方 赤川次郎 リバティ書房
- 流行作家殺人事件

※このほか話題の本がぞくぞく入荷しました。新書は就業改善センター1階ロビーの書棚にありますので、お気軽にご利用ください。

## 寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

●南須釜の圓谷勝良さんから	2万円
●竜崎の柳沼竜男さんから	2万円
●竜崎の小林金一さんから	2万円
●山小屋の松山徳一さんから	1万円
●吉の森 忠義さんから	2万円
●竜崎の小林ミドリさんから	5万円

(村社会福祉協議会)

## 8月9月の健康ごよみ

■8月  
 20日(水) 風疹予防接種 午後1時～  
 21日(木) 風疹予防接種 午後1時～  
 28日(木) 機能訓練 午前10時～

■9月  
 10日(水) ポリオ予防接種 午後1時～  
 股関節脱臼検診 午後1時30分～2時  
 11日(木) ポリオ予防接種 午後1時～  
 12日(金) 7・8カ月児童健康相談 午前10時～  
 1歳児お誕生健診 午後1時  
 17日(水) 母親教室 午前9時15分～  
 育児教室 午後1時～  
 18日(木) 機能訓練 午前10時～  
 20日(土) ふれあい健康づくりイベント「東野清流を歩こう」あの永島敏行も歩く……

保:保健センター 須:須釜公民館  
 中谷:中谷農村婦人の家 受:受付時間

### 歌愁短歌会玉川支部詠草集

卯月三日お不動さまのご緑日読経の音が社に木霊す  
 野の道に四つ葉のクローバー見つけたり心いきさみて帰る夕暮れ  
 日は落ちても闇とはならず市街地を彩るネオンの光まばゆし  
 隣家とも「結い」を交わして田植えせし昔懐かし小屋もありて  
 元気なく顔色悪く極端にやつれしわれに友遠ざかる  
 貧者のともす万灯誰もうべなわず富貴の一灯に傾く世代  
 玄関を開ければ色は目を射り来菖蒲の花は今盛りなり

村公民館  
 小針 登里  
 吉田 サヨ  
 小針 守次  
 真弓 はん  
 佐久間栄蔵  
 白旗 隆  
 登那木きみ

## 村のようす

(9年8月1日現在)

1,735戸(±0)  
 7,621人(-15)  
 3,729人(-7)  
 3,892人(-8)

## お誕生おめでとうございます

(7月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	野崎 優歌	忠志

おくやみ申し上げます

(7月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
竜崎	柳沼石晴	69	竜男
"	小林松男	57	ミドリ
"	小林ヒサ	57	金一
"	鈴木ケイ	68	吉孝
南須釜	圓谷ハル	75	勝良
吉	森 忠寛	62	忠義
山小屋	松山 金次郎	78	徳一

### 今月の納税

【納期限は8月25日(月)迄です。遅れに納めましょう。】

村 県 民 税	第2期
国民健康保険税	8月分
国民年金保険料	8月分

# 趣味の達人 ⑤

『油 絵』…………… 石井 スイ子さん

今月は小高にお住まいの石井スイ子さん(六九歳)の油絵をご紹介します。

「どんなキツカケで始められたんですか？」

「一人暮らしですから、退屈しに始めました。お茶飲みばかりやっていられますから。」

「油絵はいつ頃からやっているんですか？」

「5年前頃から水彩画をやっていたんですが、油絵は2年前から始めました。」

「最初はどちらかで習ったんですか？」

「いいえ、全くの素人で我流」

「なんですよ、本当に」

「水彩画はある程度はできるでしょうが、油絵はむずかしいですよ。」

「道具を買った画材屋さんで油の付け方を少し教わった程」



利尻富士を描いた絵と石井さん

「度なんです。画材屋さんから油絵は紙でなくて布に描くんですと教わったくらいですから」

「水彩画に比べて油絵はどうですか？」

「油絵は色づくりがむずかしいですね。」

「主にどんな絵を描かれますか？」

「風景画が多いですね。旅行などに出掛けた時に使い捨てカメラで撮ってきた写真を見て描きます。」

「風景画の他にも何か描かれますか？」

「人物なども描くこともありまして、人物は表情がとても」

「むずかしいです。風景画のほうが好きですね。」

「この趣味のいいところは、どういふところですか？」

「ボケ防止にいいと思います。何か趣味を持たないとボケーとして身体に悪いでしょうか。」

「今はどんな油絵を描かれていますか？」

「夏場は農業が忙しくて描けません。冬場に描きます。先月、青森の方に旅行をしてきたので岩木山の絵を描くのを楽しみにしています」

「石井さんは、油絵の他にも山野草や菊づくりなどの趣味もあります。」



初段の合格証書を手にする林さん

## シリーズ「私の宝もの」④

林 芳子さん(南須釜)

この紙切れ一枚が私の『人生訓』であり、また同時に女だからと手加減を許さず指導してくれる先生方や仲間、又時々思い余って「鬼ババア!!」と言う子供達との絆をつくってくれた宝ものです。

これは自分の子供が剣道を始めた時の送迎の際「私にもできそう、私もやりたい」と恥ずかし気もなく子供と一緒に始めたのですが、子供の方が上達が早く、一歩先んぜられたため、元来負けず嫌いの性格もあって「どうせやるなら頂点

をと手の豆が二段重ねになるくらい練習して最初に手にした合格証書です。

これは、今も当時の袋に入れたままにしています。それは、この合格証書にした時の気持ち、何にもたとえ様がないくらいのものであったため、それを忘れる事のないように額にも入れません。

今年、子供と一緒に昇級、昇段試験を受けることができる年齢になりました。子供と一緒にこの枚数を重ねて行けたら……。

### 東京玉川会コーナー



## 心に残る 我がふるさと 『わたしの思い出』

八王子市 本郷 芳さん (小高出身)

昭和30年代初めの頃の玉川村の懐かしい思い出です。

私は、小高に在住して須釜小、中学校へ通っていました。

この通勤路は、当時失対事業の人達が手作業で工事を何年も続けていたので泥んこ道でした。自転車の車輪は回転不可になること常でした。

雨上がりの校庭は又泥んこで運動会を始める前に水溜まりに何枚もの雑巾を入れ水をバケツにしぼりと、山砂を散布して開会式にこぎつけました。

当時は、予算が不十分で児童生徒は露引き、イナゴ取りなどをして、その売上げ金で運動用具や図書を求めたものです。

農繁期には高学年は2週間「農繁休業」と称して休校、農業に専念して家業を助けました。煙草の納期近くには、葉煙草



須釜中・小の学習発表会の時の服装(後列右端が私)

伸ばしを家族と共に子供達は夜なべをしました。

村でテレビのある家は数える程で、そのため金曜日の夜は図書館にあるテレビでプロレスを見る若者達で満席でした。

中学校の卒業生の多数の者は当時の集団就職列車で泉郷駅より京浜地区へ向かった事も今では昔話と化しました。

さて県内唯一の福島空港を有する玉川村。東北の交易文化の中心地になる可能性を持つまで発展しました。泥んこ道は姿を消し、舗装道路が駆けめぐり昔の雰囲気はありません。

21世紀に向かって好発進を続ける我が故郷玉川村の益々のご発展を心よりお祈りします。